

自殺をケアするということ ～「弱さ」へのまなざしからみえるもの～



自殺とケア研究会では、7年間の研究成果として『自殺をケアするということ』を出版いたしました。なぜ人は自ら命を絶つのか、そして、その気持ちに寄り添うことはできるのだろうかという問いに対し、「弱さ」という視点から論じています。この出版を記念して、「自殺をケアするということ」について、改めて皆さまと考える機会を設けたいと思い、このシンポジウムを企画しました。皆さま、是非ご参加下さい。

第1部 基調講演 14:00 - 15:00

講師 齋藤友紀雄 氏

(日本自殺予防学会理事長・日本のいのちの電話連盟理事・青少年健康センター会長)

タイトル『自死者の名誉回復』



第2部 シンポジウム 15:20 - 17:00

シンポジスト

引土絵未

(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部外来研究員)

尾角光美

(一般社団法人 Live on 代表理事 / 京都府自殺対策推進協議会委員)

市瀬晶子

(関西学院大学人間福祉学部助教)

コーディネーター

木原活信

(同志社大学社会学部教授)

2016年3月26日(土)

時間：14:00～17:00(受付 13:30～)

場所：同志社大学 良心館 207号室

(京都市上京区烏丸通今出川上ル 今出川キャンパス)

※参加費無料・事前申込み不要

主催：同志社自殺とケア研究会 / 共催：同志社大学社会学会、同志社社会福祉教育研究支援センター、木原研究室
後援：同志社良心学研究センター、ミネルヴァ書房 / 連絡先：同志社大学社会学部木原研究室 kihara0918@gmail.com

※本企画は、JSPS 科研費 15K03980 (基盤 C) の助成、および同志社社会学会の助成を受けています。